

# 【1】 “新4K8K衛星放送”受信機器の出荷開始状況

資料4

## (1)新チューナー内蔵「テレビ」

機器メーカー	出荷開始日
■東芝映像ソリューション	2018年 6月 6日
■三菱電機	// 10月18日
■シャープ	// 11月17日
■シャープ (8K)	// 11月17日
■ピクセラ	// 11月29日
■ハイセンス	// 12月 1日
■パナソニック	2019年1月25日
■LGエレクトロニクス	// 4月25日
■ソニー	// 6月 8日
■船井電機	// 7月20日
■ORION/ドウシシャ	// 11月18日
■ソニー (8K)	2020年 3月 7日
■ドン・キホーテ	// 5月15日
■LGエレクトロニクス (8K)	// 6月10日
■アイリスオーヤマ	// 6月18日

## (2) 外付け「新チューナー」

機器メーカー	出荷開始日
■ピクセラ	2018年10月 5日
■パナソニック	// 10月19日
■ソニー	// 11月10日
■船井電機	// 11月10日
■シャープ (8K)	// 11月17日
■東芝映像ソリューション	// 11月22日
■シャープ	// 11月24日
■アイオーデータ機器	// 11月27日
■マスプロ電工	// 12月14日

## (3)新チューナー内蔵「録画機器」

■パナソニック	2018年11月16日
■シャープ	// 11月24日
■ソニー	2019年11月16日
■東芝映像ソリューション	// 11月20日

## (4) 新チューナー内蔵「パソコン」

■富士通クライアント コンピューティング	2018年11月22日
-------------------------	-------------

<2020年7月21日現在の状況>

## 【2】新4K8K衛星放送の視聴可能機器台数

(2020年6月末までの集計値)

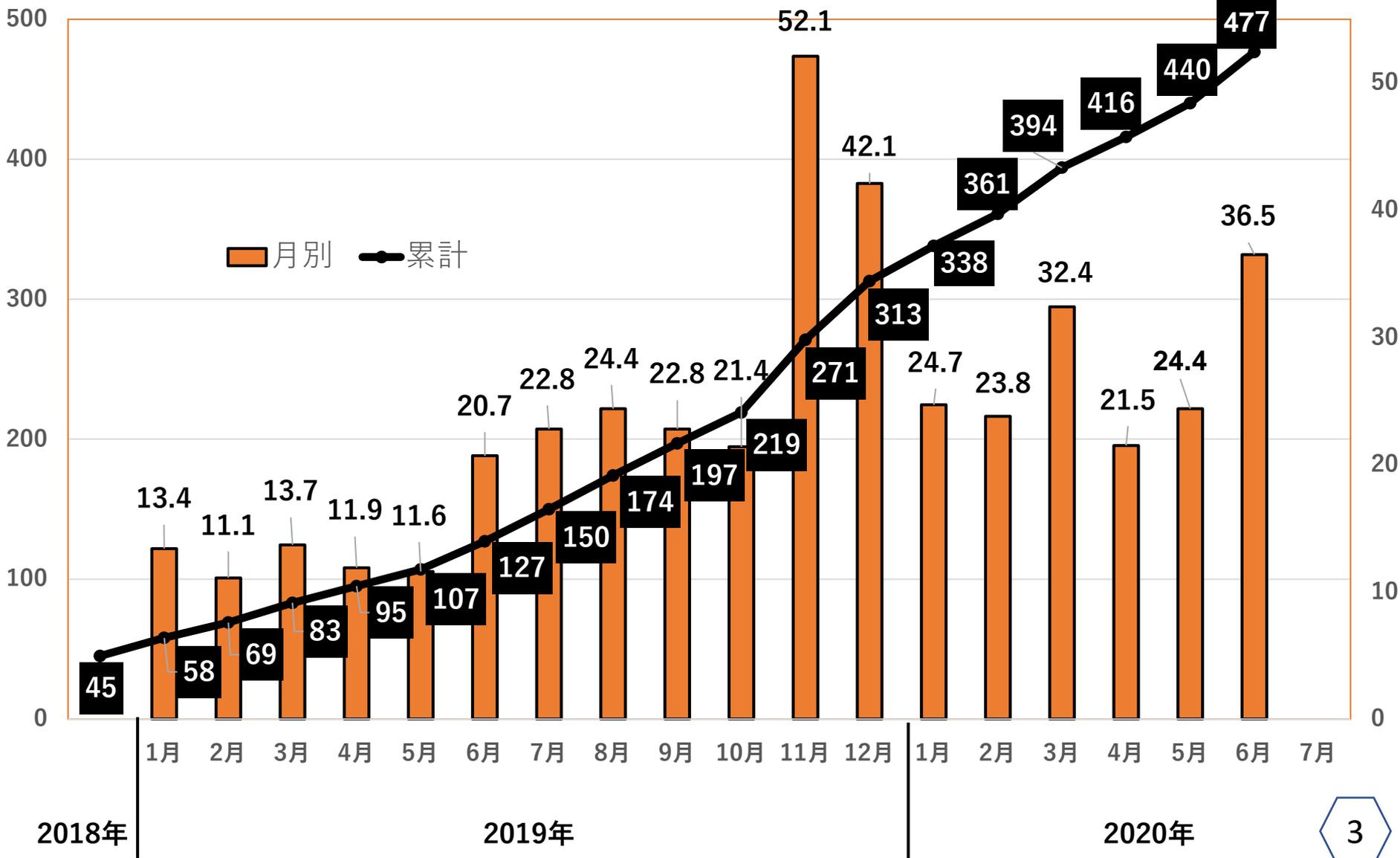
<単位:千台>

分 類		6月分	6月末累計
直接受信	① 新チューナー内蔵テレビ	285	3,116
	② 外付け新チューナー	2	249
	③ 新チューナー内蔵録画機器	33	490
CATV受信	③ 新チューナー内蔵STB	45	912
合 計		365	4,767

(注) ①②:JEITA発表出荷台数、③:JCTAヒアリングによる設置台数

# 【3】新4K8K衛星放送 視聴可能機器台数の月別推移

単位：万台（累計／月別）



## 【4】新4K8K視聴可能機器の普及状況

### [1] 全体での動き

- コロナ禍ではあったが、6月単月では、前年20.7万台→今年36.5万台となり、**前年同月比176%**の伸びとなった。  
4-6月の四半期で見ても、前年14.7万台/月→今年27.4万台/月となり、**前年同期比186%**の大きな伸びとなった。
- 「4Kテレビ」が好調だった要因を整理すると
  - ・ **コロナ対策として、「ステイホーム」の拡がりにより、家族揃ってのテレビ視聴時間が増え、大きな画面のテレビへの買換ニーズが顕在化したこと**
    - ＝≫ 4-6月では、テレビ全体で「50型以上」が昨年29.1万台→今年41.2万台（前年同期比142%）に。全体に占める比率も前年26%→今年35%
    - ＝≫ 流通での「4Kテレビ」の前年同月比販売台数の伸び率調査結果：  
4月：**123.4%**→ 5月：**154.5%**→ 6月：**156.8%**（BCN社調査）

### [2] 商品別での動き

- この好調な動きを支えた原動力は、やはり、「新チューナー内蔵テレビ」であり、台数比では、6月単月で78%、4-6月でも75%を占めている。